

2024年6月25日

各位

会社名 株式会社コプロ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 清川 甲介
(コード：7059、東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 執行役員 経営企画室長 松田 高志
(TEL. 052-589-3065)

第18回定時株主総会 質疑応答要旨

2024年6月21日開催の第18回定時株主総会における質疑応答要旨を開示いたします。なお、質疑応答要旨については、ご理解いただきやすいように表現の変更や加筆・修正を行っています。

Q：本総会の招集通知P.22-23に掲載されている「(6)使用人の状況」において、使用人数が前事業年度末比で16名減少しているほか、平均勤続年数が3.6年と短い、経験不足により技術者のサポートが十分に出来ない心配はないか。

A：該当の情報は純粋持株会社である株式会社コプロ・ホールディングスの単体実績であるため、技術者をサポートする事業子会社の使用人は含まれていないが、事業子会社を含めても当社グループの社員は比較的年齢が若いことには変わりはない。経験年数を伸ばしながら経験値を高めることは必要ではあるが、年齢と成果は必ずしも関係がなく、これにより当社のサービスが低下していることはない。また、技術者の年間採用数のうち、大半を業界未経験の20～30代の方が占めることを考えると、求職者と近い目線で選考を行い、配属後もサポートができることはメリットでもある。

Q：2025年3月期業績予想の前提条件について質問したい。コプロテクノロジーの採用数が前期対比で大幅な増加を予想しているが、実現可能性は高いのか。

A：建設技術者派遣事業で培ったプロセスマネジメントの取組みをコプロテクノロジーの採用活動にも横展開して、グループシナジーを生み出す。また、営業面では、商流の浅い企業の開拓も同時に進め、技術者に魅力のある案件を受注していく。高い成長目標ではあるが、達成に向けて注力する。

Q：株式分割と自己株式取得に関して今後の考え方を教えて欲しい。

A：大前提として、株主価値を高める方策としては、毎期の業績予想の達成によりEPSを増加させていく王道を行きたいと考えている。同時に、自己株式取得は業績や投資計画等を踏まえて柔軟に検討したい。2025年3月期業績ガイダンスでは、増収増益予想と増配予想を公表したが、公表後の株価は冴えない動きであった。中小型株のマーケット全体が軟調である影響もあるだろうが、適正な評価を得るためであれば適宜手を打つ考えである。また、株式分割も個人投資家の流入を増やし、株式流動性を高めることを目的に、株価次第で検討していく。

以上